

報道関係者 各位

新型インフルエンザ患者の人工呼吸器使用症例について

10月9日、長野県より、新型インフルエンザ患者の人工呼吸器使用症例について、別添の通り情報提供がございましたので、お知らせいたします。

なお、患者の個人情報については、特段のご配慮をお願いいたします。

新型インフルエンザ患者の人工呼吸器使用症例についてお知らせします

長野県内の医療機関において、新型インフルエンザ患者に人工呼吸器を使用した症例が確認されましたので、次のとおり概要をお知らせします。

- 1 患者
10歳未満、男性(長野市内在住、基礎疾患(慢性呼吸器疾患)あり)
- 2 経過
10月7日 ・夜、発熱(38.4℃)、咳の症状で医療機関を受診し、入院
・インフルエンザ迅速簡易検査A型は陰性
10月8日 ・再度、医療機関で検体を採取
・長野市保健所(環境衛生試験所)にてインフルエンザ迅速簡易検査を実施しA型陽性、PCR検査で新型インフルエンザと確定
・症状が改善しないため、人工呼吸器を装着し治療開始
・状態が改善しないため、別の医療機関に転院
10月9日 ・現在も人工呼吸器を装着し、治療中
- 3 本症例は、長野県内の重症化症例4例目

※患者の個人情報については、特段の御配慮をお願いします。

(注)本件は、8月25日付け厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務局通知「新型インフルエンザ(A/H1N1)に係る今後のサーベイランス体制について」に基づき、新型インフルエンザの入院患者が、入院中に人工呼吸器を使用したこと及び集中治療室に入室していることを把握したことから厚生労働省と連携のもと、公表を行うものです。